

- 予算案件 …………… 1 件
- 条例案件 …………… 6 件
- 人事案件 …………… 1 件
- その他案件 ……… 3 件

この定例会には、令和7年度一般会計補正予算、条例の一部改正、財産の取得など11議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧いただけます。



議案
第1号

令和7年度 旭市一般会計補正予算

県の補助を活用して、防犯カメラを増設

当初予算で防犯カメラ2台分を計上していたが、県が防犯力強化緊急支援事業費補助金を創設したため、補助を活用し8台、市単独で2台の計10台分を追加計上する。

問 車両や農作物の盗難、不審者の目撃情報などが頻繁に報告されているが、設置場所の選定基準について伺う。

答 旭市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱に基づき、施設を所管する課が必要に応じて設置をしている。

問 設置場所に関する基準がなく、必要に応じて設置することだが、地域住民からの設置に対する要望に配慮しているのか伺う。

答 公共施設などのカメラ設置については、利用者の方の声を聞きながら設置をしている。一方で道路上の設置については、事故防止や犯罪捜査に使われることから、警察と協議の上で設置をしている。警察との協議に当たっては、市民からの要望を踏まえ、情報共有しながら設置場所を検討していきたい。

問 本市の防犯対策の具体策、メインは何か伺う。

答 防犯カメラ以外の防犯対策として、市民への周知も必要だと考えている。

例えば、青パトによる市内全域のパトロール、防犯指導員による通学児童の見守り活動なども実施している。7月1日が防犯デーとなっており、毎年7月には旭警察署員を招いて、市民の防犯知識の習得と防犯意識の向上を図るため防犯講演会を開催している。そういったものを総合的に実施し、防犯に努めていきたいと考えている。

定額減税調整給付金の確定に伴い不足額を給付

令和6年度に見込み給付した定額減税調整給付金給付事業について、令和6年分の所得税額や定額減税額が確定し、本来給付すべき額を下回った方に対し、不足額を給付する。

問 具体的な給付対象者を伺う。

答 例としては、退職等により令和5年に比べて令和6年の収入が減少した方や、令和6年中に子どもが生まれるなど扶養親族が増えた方、令和5年は学生で収入がなかったが、令和6年に就職して所得が発生した方、また、個人事業主の事業専従者で令和6年分所得税及び令和6年度住民税所得割が非課税の方などが給付対象となり得る。

問 市内の給付対象者の状況を伺う。

答 給付対象者は5月1日時点で7317人を見込んでいる。

議案
第4号

水道技術管理者等の資格を定める条例2件の一部改正

「旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例」と「旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例」の2件について、関係法令の改正に伴い、所要の改正を行う。

問 専用水道の水道技術管理者、水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の具体的な業務内容について伺う。

答 専用水道の水道技術管理者は水道事業と同様に、安全な水の供給に関する技術的な責務を負い、水道施設の維持管理、水質管理、衛生管理、その他水道事業者の職員監督など、安全な水の供給のために必要な事項を監督する。水道の布設工事監督者の具体的な業務は、水道工事の施工における技術的な監督を行い、安全、品質の管理等、法令遵守の徹底、現場の指示、工程や安全管理など工事全体の進捗と品質管理等を監督する。水道の水道技術管理者の具体的な業務は、水道施設が施設基準に適合しているかの検査、水質検査、衛生上の措置、給水停止などの業務を行う。